



四季折々に美しい箕面の山なみ景観を「ナラ枯れ」被害から守ろう！

NPO山麓委員会は、箕面の山麓保全を推進する中間支援組織として、市民・山林所有者・行政による「協働」の取り組みの中で、森林の持つ多面的機能を最大限発揮させることを目標として、活発に活動を行っています。「ナラ枯れ防止グループ」(代表:竹田光廣さん)による最近の活動状況を紹介します。



* 毎月第1・3月曜(原則)が活動日。10時～ミーティング終了後、山に入り軽作業。

		4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	
ナラ枯れ被害防止グループ	粘着シート(内向き)	カシナガ成虫の羽化・脱出防止						
	粘着シート(外向き)		雄の集合フェロモンを利用した捕獲					
	枯死木の位置確認			森林組合に位置を案内				
箕面市・森林組合	伐倒・くん蒸処理							
	樹幹注入		薬剤を注入し予防(2015年から新規実施)					

冬季の「伐倒くん蒸処理」などは、行政の役割分担であり、被害木の調査や確認、粘着シートを使つての応急処置など、ボランティアが出来る活動を行っています。箕面市や森林組合と情報や意見の交換を行いながら、「協働」で、出来る限り「ナラ枯れ」被害の拡大を減らそうとしています。

<箕面の山での「ナラ枯れ」被害の状況と活動人員数>

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
発生箇所	5	7	10	23	42	30
被害木の総数	2	10	82	319	503	770
枯死木の数			19	41	114	358
ボランティア人員数	5	7	10	10	11	12
のべ活動人員数				179	255	252

* グループが調査した数値
発生箇所は国有林・府有林・市有林・民有林の合計
* 2014年度の被害木総数
枯死木と被害が著しい被害木だけを集計

何も対策を実施せずに放置しておれば、被害発生から数年で、爆発的な被害拡大となりますが、行政との「協働」による精力的な活動により、急激な被害の拡大は、一定程度、抑えることが出来ています。



* カシナガのマスアタック * 外向けに粘着シートを貼り付け、間に荒縄で空間を確保

* カシナガを捕獲

カシナガ(カシノナガキクイムシ)の新成虫が羽化・脱出せず♂が幹に孔を掘り、集合ホルモンを発散します。集合フェロモンに誘引された多数の♀♂成虫が樹木に穿入します。マスアタック(集中攻撃)を受けた樹木は、樹木内にカシナガ♀が持ち込むナラ菌が蔓延すると、通水機能を失って枯れてしまいます。グループでは、6・7月期は、♂が穿入した樹木に粘着シートを外側に向けて貼り、集合フェロモンで誘引されたカシナガを捕獲する作業を行っています。その際、5mm網目の防風ネットを、粘着シートの上に貼って、他の生き物が付着するのを防ぐようにしています。

7～9月期にボランティアスタッフの重要な作業は、枯死木を発見して、場所を特定して記録することです。夏の間、ハイキング道などを点検するのは大変ですが、これを行わないと本格的な作業(行政による伐倒くん蒸処理)が出来ません。四季折々に美しい箕面の山なみ景観を守る活動に応援をお願いします。

生物多様性保全「人と自然が共生するまちづくり」

○生物多様性とは

生物多様性とは、「生きものたちの豊かな個性とつながり」のことです。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、約175万種の生きものが存在するといわれています。これらの生命は、ひとつひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。

○生物多様性の恵み(生態系サービス)

私たちは生物多様性の恩恵を受けていることを忘れがちですが、さまざまな生物多様性の恵みを得て生活をしています。

- ◆生きものがうみだす大気と水(基盤サービス)
土壌の形成や光合成による酸素の生成など、全ての生命の基盤は、生物多様性の恵みの継続的な提供により支えられています。
- ◆暮らしの基礎(供給サービス)
米や野菜、肉や魚などの食料、木材や燃料、衣類(繊維)など、私たちの生活に欠かせない資源は、生きものから得られています。
- ◆自然に守られる私たちの暮らし(調整サービス)
森林による洪水や土砂崩れを防止する機能、気象の緩和や水の浄化、環境を制御する生態系の機能は私たちの暮らしを守ってくれています。
- ◆文化の多様性を支える(文化サービス)
地域の自然に根ざした伝統文化や生きものをモチーフにした芸術や食文化など、多くの地域固有の文化は、その地域に固有の生態系により育まれてきました。

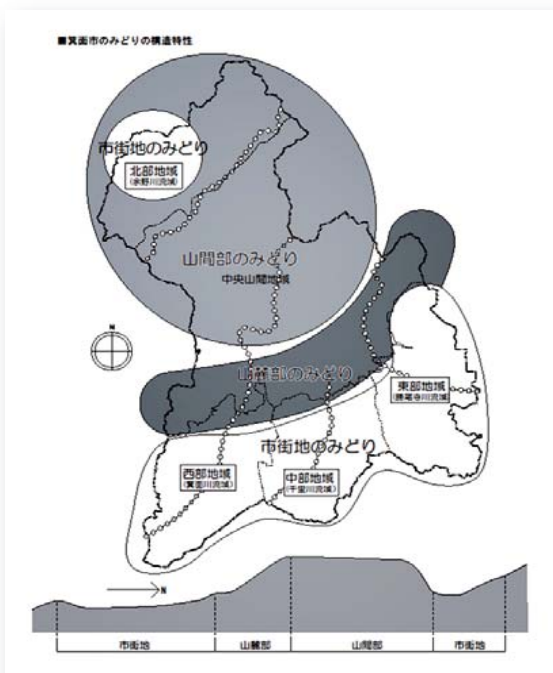


*上のイラストは、おおさか生物多様性セミナーから引用

食事ひとつをとってみても、たくさんの種類の生きもので構成されており生きものを育む環境もさまざまです。

○生物多様性を守る意味

自然界は、長い歴史を経て、非常に複雑なバランスのもとで成り立っています。もし、回復不可能な状態に陥った場合、全く同じ生態系を人間は作り出すことはできません。私たちが生態系の保全や生態系サービスの持続可能な利用を心がけないと、生物多様性の恵みに支えられている私たちの生活は脅かされることとなります。将来世代のためにも、生物多様性の保全と、持続可能な利用を図らなければなりません。



*上のイラストは、箕面市の資料から引用

箕面には、明治の森箕面国定公園をはじめとして、山間・山麓部の森林、山すその樹林や社寺林、農地、ため池、河川・公園といったさまざまな自然と生態系があり、その生態系に応じたさまざまな生きものが棲息しています。

○生物多様性の4つの危機

人の影響で生物多様性が損なわれる4つの原因

- ◆開発など、人間活動による危機
鑑賞や商業利用のための乱獲・過剰な採取や、開発によって生息環境を悪化・破壊するなど、人間活動が自然に与える影響は多大です。
- ◆自然に対する働きかけの縮小による危機
里地里山が、農業形態やライフスタイルの変化などにより利用されなくなったことで荒廃し、その環境特有の生物が減少しています。
- ◆人間により持ち込まれたものによる危機
生物の移動能力を超えて、人間が持ち込んだ生き物(外来生物)がもともいる生き物(在来生物)を駆逐することなどで、地域固有の生物相や生態系に大きな脅威となっています。
- ◆地球環境の変化による危機
温室ガス濃度の増加によって平均気温が上昇すると、多くの種はその変化に適応できず、絶滅リスクが高まると予測されています。

「人と自然が共生するまちづくり」の活動を通じて、箕面の自然やそこに暮らす生きものの特徴、箕面の文化や祭り、自然の恵みと農業とのつながりなどを知るとともに、昔と今の自然と人の暮らしの変化にも視点を向けることで、地域全体への理解が深まります。活動により人々の交流が活発になり、人と自然が共生する地域づくりにつながり、豊かなくらしが得られ、地域の活力(特産品や観光など)が生まれます。

第11回

みのお森の学校 ～人と自然の入門講座～

募集中

箕面の山をフィールドに学ぶ、活かす、楽しむ、育てる、守る。森での楽しみ方はそれぞれです。箕面の森での楽しみ方を見つけましょう！そして、箕面の森の守りびとになりましょう！
▽2015年9月～2016年6月 ▽午前は講義、午後は森で楽しく実習！



森で実習の様子

▽募集人数：20名（受付順）
▽受講料 10,000円(全10回)

(日曜)	午前(講義)10時～12時	午後(実習)13時～15時
9月13日	さあ、はじめよう！	森に親しむ、森を歩こう
10月4日	箕面の森を知ろう	木々と友達になる
10月18日	里山ってなんだ？	植物の様子を調べよう
11月3日	森のいろんな働きを知る	きこり体験をしよう
11月15日	<オプション> 森の癒しを感じよう！（森のセラピー体験）	
12月6日	違うってすばらしい	森のおくりものを楽しもう！
1月17日	<オプション> 初詣と新年会	
2月7日	森の成り立ちを学ぶ	森のおそうじ、森に恩返し
3月6日	森と人とのなが～いつながり	聖地を訪ねて、気分は巡礼
4月10日	これぞ里山 台場クヌギ林&「菊炭」炭窯見学(能勢・妙見口)	
5月15日	森のいろんな仲間たち	里山新発見(ハイキング)
6月19日	箕面の森の活動紹介	箕面の森の守りびと誕生！

*オプションは自由参加・費用別途、4/10現地までの交通費別途。

第5回

みのお森のセラピー ～アシスター養成講座～

募集中

森の持つ力を理解し、依頼者にとってのセラピー効果が最大限になるよう援助し、心地よいひとときを過ごしていただけるよう一緒に森を歩き、森の癒しを導くのが「森のセラピーアシスター」です。本講座は、多岐にわたる学びをきっかけに、「みのお森のセラピー研究会」に参加・活動することを通じて箕面における森のセラピー事業発展のため、共に研鑽する人材の育成をめざします。

▽募集人数：20名（受付順） ▽受講料：6,000円(当日集金)
▽養成講座：2015年8月～10月 5日間(別途：試験日あり)

○8月23日(日)：「説明会」(11時～12時/事前申込不要・無料)

- ① 8月30日(日)：「オリエンテーション・箕面学」… 気象・地理・歴史・文化など
- ② 9月 6日(日)：「森林セラピー」… 森林セラピーの理解など
- ③ 9月13日(日)：「心と身体」… 森林医学・薬学・生理学・アロマセラピーなど
- ④ 9月20日(日)：「コミュニケーション」… コミュニケーション・傾聴
- ⑤ 9月27日(日)：「自然・生態系」… 自然生態学入門

○10月25日(日)：「修了試験」* 詳細は受講時にお知らせします。

▽場 所：箕面市内の会場、又はNPO山麓委員会事務所(予定)



箕面滝道「ふれあい広場」での活動を募集中！

募集中

滝道「ふれあい広場」(阪急箕面駅から北に徒歩5分)では、「ゆずるの足湯」とは別に「事務所棟」があり箕面の自然や文化・歴史など情報発信、ハイキング道の案内など安心・安全情報の発信を行っています。「事務所棟」前の広場では、非営利団体による山麓保全活動のイベントを募集しています。



「森の自然工作教室」



「平成のぞきからくり」

○日時：7月5日(日)8月2日(日) * 雨天中止
午前11時～午後3時
○費用：200円(1作品につき)
○協力：一休さんの自然工作教室

日時：7月18日(土) * 雨天中止
午前11時～午後6時ごろ
○費用：無料
○協力：ええ・みのお推進市民の会

★問合せや申込：メールまたはFAX・TELで、NPO法人みのお山麓保全委員会事務局まで。

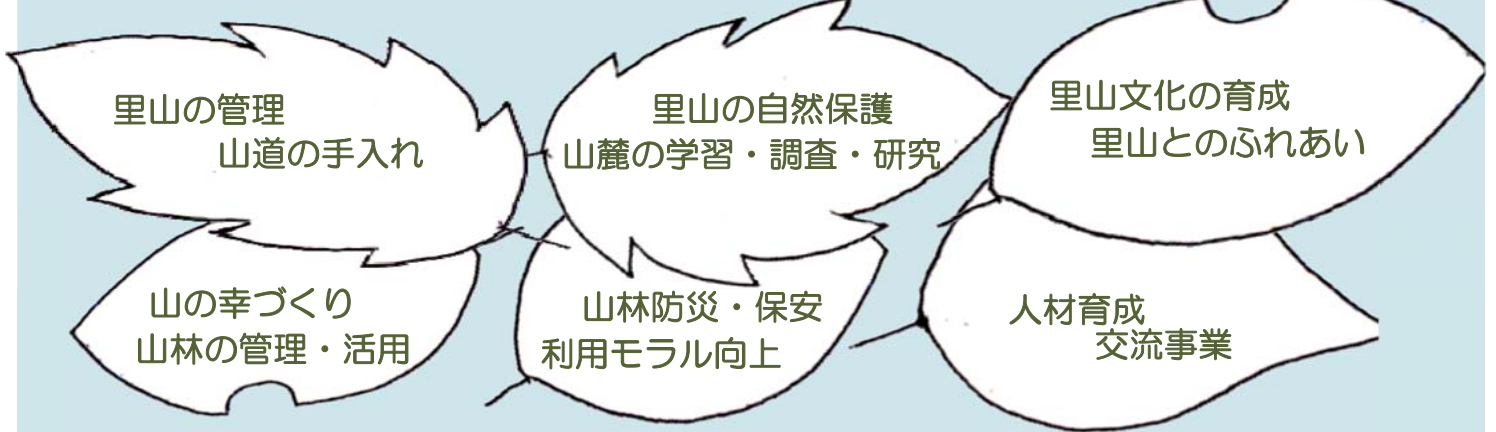
公益信託「みのお山麓保全ファンド」8月期助成

募集中

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かす活動を資金面から応援(助成)します。助成などの相談はお気軽にNPO山麓委員会までご連絡ください。

- ◆申請受付期間: 8月1日(土)～8月31日(月)
- ◆助成金額: ○一般助成・・・1件あたり25万円以内 ○特別助成(ハード整備)・・・1件あたり25万円超～
- ◆助成の流れ: 受付(8/1～31)⇒運営委員会助成決定(9月下旬) ⇒助成(10月中旬)
- ◆助成対象となる事業の期間: 平成27年4月1日～平成28年3月31日

◆助成対象となる事業



公益信託「みのお山麓保全ファンド」サポート会員

箕面の森の守りびとになってください!

募集中

みんなで守ろう!
箕面のみどり!



毎年1,000円以上、寄付をしていただける「箕面の森の守りびと」(山麓ファンドサポート会員)を募集しています。箕面の山麓や山のみどりを守り・育て・活かす活動が継続できるよう 資金面でのご協力をお願いします!

「箕面の森の守りびと」になっていただけると、たきのみちのゆずるの会員シールをお送りするとともに、年4回、定期的な通信をお送りいたします。

☆加入方法 手続きは簡単です。お近くの郵便局でお振り込みください!

(口座番号)00960-5-318170 (加入者名)みのお山麓ファンド

★いただいた募金は、市民や山林所有者による山麓保全の活動に使われます。

公益信託「みのお山麓保全ファンド」募金実績 期間:1月～5月31日

▽「箕面の森の守りびと」会員	嶋村葉子さま他 個人の会員	・・・ ¥ 191,000
▽ 企業からの募金	阪急電鉄・阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト (株)ボン	・・・ ¥ 207,314
▽ 市民団体からの募金	箕面の森の音楽会・だんだんクラブ・その他	・・・ ¥ 33,360
▽ 募金支援 自動販売機	箕面ネイチャールーム・1-joyo・大阪観光株	・・・ ¥ 26,492
▽ ゆずるの足湯募金	箕面滝道ふれあい広場(大阪観光株)	・・・ ¥ 15,373
▽ 募金箱・その他	募金箱・インターネット募金(GIVEONE)	・・・ ¥ 36,510
▽ 学校・園	萱野北小学校	・・・ ¥ 5,695
▽ 箕面市の「ふるさと寄附金」(山麓保全)		・・・ ¥ 133,000
		計 ¥ 648,744

■NPO山麓委員会は5月31日に第14回定期総会を開き、2014年度事業報告・2015年度事業計画・及び下記の役員選任がされました。理事:稲井信也、角山年昭、鹿島幸子、竹田光廣、中瀬重幸、成瀬英夫、本多孝、村上竜太(以上、再任)近藤万里、松木亮、宮武みゆき、中川弘佳(以上新任) 監事:山内一浩(再任) 顧問:越田恒人(再任) 終了後の理事会で代表、副代表が互選されました。代表理事:稲井信也(再任) 副代表理事:角山年昭(再任)、成瀬英夫(新任)、鹿島幸子(再任)、事務局長:高島文明(再任)。よろしくお願ひします。

NPO法人みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6丁目3番1号みのおサンプラザ1号館211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページURL:www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

